



井原市の花 パンジー

井原市民病院だより

No.33

2016年8月発行



井原納涼花火大会

地域とともに歩む、
より愛される病院を目指して

Mission (使命)

地域住民の尊厳を守り、命を守り、
健康増進を支援する

Vision (将来展望)

いつでも安心してかかる、
身近で愛される急性期病院

今年のスローガン

思い込みをなくそう

Ibaraki City Hospital

井原市立井原市民病院

〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地
TEL 0866-62-1133(代) FAX0866-62-1275(代)
E-mail byoin@city.ibara.okayama.jp

診療科目

内科・循環器内科・外科・消化器外科・整形外科・眼科
小児科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・婦人科・泌尿器科・皮膚科

発行責任者：合地 明



このたび、平成28年4月1日をもちまして、井原市立井原市民病院院長を拝命いたしました合地 明（ごうち あきら）でございます。私は、

本年3月末まで約35年間、岡山大学病院で胃がんを中心とする消化器外科診療と、さらに加えて平成22年からは岡山大学病院経営戦略支援部、医療情報部教授として医療情報システム（電子カルテ・電算システム・地域医療連携ネットワークシステムなど）の構築とその経営的活用に関わり参りました。自治体病院に勤務するのは初めてですが、昭和38年5月開院以来53年の歴史を刻んでいる地域の中核病院である井原市民病院の経営と運営を担うという大役を仰せつかり、その重責をひしひしと感じているところです。

現在、いわゆる団塊世代のすべてが後期高齢者（75歳以上）となる「2025年問題」に引き続いて到来する更なる少子・高齢化時代に対応するため、地域の医療資源を有効活用し、医療提供体制を安定的に確保することが喫緊の課題となっています。このため、国の医療政策の見直しも行われ、「地域医療ビジョンの策定」などによって医療機能の分化と連携の推進が積極的に図られているところであり、地域の中核病院のみならずすべての医療機関のあり方が大きな転換期を迎えています。

すなわち、医療機能の分化と連携を推進することによって、患者さんの病状・病期（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）に応じた医療を地域全体で相互に協力して提供し、在宅復帰に繋げていくという「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換が求められています。この医療機能分化の位置付けにおいては、当院は、これまでと同様、「急性期、回復期、慢性期」の3つの病院機能を担っていくこととなります。

すでに、山田信行前院長が先見の明をもって病棟再編を行い、一般病床に地域包括ケア病床45床を設置し、医療療養病床45床とあわせて、地域の医療ニーズを見据えた体制整備がなされていますので、今後は、より一層の質の向上を目指していくことがわれわれの果たすべき責務だと考えています。

しかし、現実には地域の医療を取り巻く環境は依然として厳しく、「医師不足」「看護師不足」などの問題があり、特に医師不足は深刻で、このため救急患者の受け入れなどの課題も残っております。地域住民の皆様のさまざまな疾患に対応するためには医師一人ひとりが総合診療医であるとともに、専門性を備えた専門医でもあることの必要性を痛感しております。すなわち専門性を兼ね備えた総合医の育成、導入が急務と考え、関係機関と連携して取り組んでいければと思っております。医療は、電気・水道と同様、社会インフラの一つであり、自治体病院として、地域の住民の皆さまと井原市をはじめとする行政とともに『安心し、信頼され、満足していただける病院』を目指して職員一同、日々努力し、さらなる向上を図ってまいります所存であります。

病院職員はもとより、広く皆さま方のご助言とご協力のもとに今後の病院運営にあたっていきたくと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



院内感染防止研修会

感染管理認定看護師
主任看護師

柳本 亜由美

血液は無菌的に見えても、さまざまな病原体を含んでいる可能性があります。健康な人の血液だからといって安心することはできません。医療従事者が他者の血液などで汚染された器具により外傷を受けると、血液などにより感染を起こすことがあります。血液媒介感染症の可能性について知って頂くことを目的に、「事例から学ぶ血液体液による感染の脅威」をテーマに第5回 ICT オープンカンファレンスを平成28年6月23日に開催しました。院内外から183名の参加がありました。参加者からは「改めて感染の怖さを知った。」「針刺しなど、直接関わらない部署でも知っておくべき知識であると思った。研修に参加できてよかった。」「昔にくらべ、感染防止

に関する対策が出来ているなど思った。集中して仕事をしていく必要性を感じた。」などのご意見をいただきました。今後も地域医療圏内の皆様と、感染対策に関する情報共有・啓発を目的に研修会を継続していきたいと思っております。



院内接遇研修

療養環境整備委員会 委員長
看護部長

池田 悦子



平成28年5月10日(火)、平成28年度第1回接遇研修を行いました。例年は秋に開催していますが、今年度は春と秋の2回を計画し、株式会社エパルス 平田清美 先生を講師に「基本マナー ～心を形に、形を心に～」と題して開催し、職員129名が参加しました。

退院時のアンケートや当院へのご意見に数多く寄せられているのが『接遇』、特に言葉遣いなどで

あり、今回は初心に立ち返って基本マナーを中心に、ロールプレイングを含めてお話いただきました。先生は講演に先立って午前の外来状況を観察されておられ、「職員は患者さんに遭われてもあいさつができていない。」とご指摘を受けました。接遇の基本は『あいさつ』と『笑顔』であり、笑顔と元気で多くのファンを作りましょう！とお話されました。

職員からは、相手のことを考えた接遇、相手の気持ちに入るあいさつ、相手をよく見る、また、気付き、気配り・気遣いを意識して行動・実践していきたいとの感想が多くありました。今年度、委員会でのスローガンは、『方言をなくし、品よく対応 ～親しき仲にも礼儀あり～』と題して取り組んでいます。皆様からお褒めご意見が多く寄せられるよう努めていきたいと思っております。

敷地内禁煙のお願い

病院は、診療や治療、ご相談等のために訪れたり、入院されたりする施設であり、「より安全で快適な環境」と皆さまのご健康を守ることを使命としております。

たばこの害は喫煙されている本人以外にもその害が影響することから、健康増進法により病院や学校などの施設では、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるように求められています。

当院におきましても、病院を利用する方の環境を守るとともに、絶対的な害であるたばこから患者・利用者・職員を守るため、敷地内禁煙を行っており、ご入院・ご来院される皆さまにご理解とご協力をお願いしております。

また、病院周辺におきましてもマナーをお守りいただきますようお願いいたします。



新人の紹介

名前 (職名) 担当科 ①抱負 ②趣味・特技

土屋 沙織 (薬剤師) 薬剤科



- ①皆様から信頼される薬剤師を目指して日々勉強していきたく思います。
- ②書道、ヴィオラ、折り紙でバラを折ること

定平 真実 (作業療法士) リハビリテーション科



- ①笑顔を忘れず、猪突猛進でがんばりたいと思います。
宜しく申し上げます。
- ②雑貨作り

瀧 尊宣 (理学療法士) リハビリテーション科



- ①朗らかな笑顔と元気の良い挨拶を心がけ、より良い信頼関係を築いていけるように仕事に取り組んでいきます。
- ②音楽鑑賞が趣味で、休日にはカラオケにもよく行きます。特技は弓道です。

垣原 知佳 (社会福祉士) 地域医療連携室



- ①井原市民病院の職員としての自覚を持ち、一日でも早く全体的な業務内容を把握し、動いていけるよう勤めます。
- ② バレーボール

山室 梨恵 (作業療法士) リハビリテーション科



- ①1日も早く業務に慣れ、笑顔で頑張りたいと思います。宜しく申し上げます。
- ②古民家カフェ、雑貨屋めぐりが好きです。



人権研修 ～ハラスメント対策～

院内教育委員会 委員長
事務部長 野崎 正広

昨今、多種のハラスメントが問題となっています。これらハラスメントは人権問題であり、ハラスメントの再発防止にむけて、職員がハラスメントを十分に理解することにより、職場からハラスメントをなくすことを目的に、6月17日(金)、講師に特定社会保険労務士、医療労務コンサルタントの 中国薫 先生を講師に迎えて院内研修を開催しました。当日は、職員102名の参加がありました。

先生からは、職場からなくすためには、まずは、職員一人ひとりがハラスメントを十分に理解することである。ハラスメントとは、一般的に『嫌がらせ、いじめ』であり、他者に対する発言や行動が、本人の意図とは関係なく相手を不快にさせたり、不利益や脅威を与えたり、人権・人格権を傷つけることであり、その種類は、行為の態様、主体、行われる場所などで区別され、多種にわたっており、職場環境の悪化、能力発揮の阻害、会社の社会的イメージや評価の低下など多くの問題が生じ、業務の効率的な

運営にも支障を来すことになる。

そして、職場からハラスメントを排除するためには一番重要なことは、職場のコミュニケーションであるとのことでした。言動には注意し、相手の気持ちになって相手の立場を尊重すること。個々がコミュニケーション能力をアップし、心構えとして「傾聴」の態度、相手の話を受容的態度、共感的理解をもって受け入れ、話す側も5W2Hで整理して話をし、相互に理解することが大切であるとのことでした。管理者の立場では正しい認識と職場環境に日頃から注意し、職務に専念できる職場づくり、気軽に相談できる体制づくり、被害者の立場となった場合には毅然とした態度と記録・問題を整理し、信頼できる上司や身近な人に相談することであるとのことでした。

今後も継続的に周知、啓発を行い取り組んでいきたいと考えております。



ロビーコンサート 6月16日

平成28年6月16日(木)、恒例となったトランペット奏者 崎谷由佳利さんとピアニストの安倍千晶さんのロビーコンサートが開催されました。今年は、毎年ピアノの調律をしていただいている元市議会議長の高田正弘さんがサクソフォンで参加いただき、『見上げてごらん夜の星を』『花は咲く』『ふるさと』など数曲を演奏され、短い時間ではありましたが、来院されている外来患者さんなど、心和む、楽しいひとときを過ごすことができました。また、今年は、当院でのボランティア演奏活動を始めて10周年とのことで、定例の秋には、11月20日開催予定の「病院健康まつり」にもお願いしておりますので多くの皆さんにもご来院いただければと思っております。



病院の日・看護の日 ～永年勤続表彰～

毎年5月12日は、病院の日・看護の日です。この日に合わせて、「勤続15年の職員表彰」が行われました。3名の職員に合地院長から表彰と記念品が贈られ、永年勤続に対する労いとお祝いの挨拶があり、職員から謝辞が述べられました。

(表彰された方々は次のとおりです)

副看護師長 三宅 泉
主任看護師 土田 郡子
准看護師 中原 和美 (敬称略)



奈田 知明 岡山大学医学部医学科3年生



井原市民病院の皆さま、3月14日からの5日間たいへんお世話になりました。初めての病院実習で様々な場面にお邪魔をし、刺激のある充実した日々を過ごせました。医師以外の職種

のかたがたの活動を知ることができたのがとても大きな収穫でした。

大学では正常な人体の勉強を終え、病気やその治療法に関する勉強に移りつつあるのですが、患者さんのリハビリや退院後の生活をサポートする必要があるとは全く気づきませんでした。退院カンファレンスでは様々な職種の代表が集まり、予習をしたうえでの活発な意見交換がなされており、患者さんがいないところでの活動を知ることができました。また、NST委員会の食事によるサポートも知ることができました。

これからの日本の医療に携わっていくにあたり高齢者の問題はとても重要なので、治療だけでなくさらなるサポートを学んで大切にしていきたいと思いました。

この病院は挨拶が盛んで絵画もところどころに飾っており、とても明るくきれいで居心地の良い病院だと思います。ありがとうございました。

池田 哲治 岡山大学医学部医学科2年生



今回2月22日から26日までの5日間、井原市民病院で実習をさせていただきました。外来や、検査手技、各部署、カンファレンス、訪問看護、訪問リハビリテーションなどを見学させて

いただき、実に様々なことを体験することができました。地域の病院で数日間勉強させていただくことは初めての経験で、知らないことばかりで戸惑うことも多かったですが、おかげさまでとても有意義な5日間になりました。

今回の実習に参加させていただくまでは、地域医

療に関する知識は講義で聞いたもののみでした。しかし今回の実習を通じて、実体験として地域医療とはどのようなのか実感することが出来ました。地域の中核病院たる井原市民病院は地域の医療機関と連携して医療を支え、医療従事者の方々の積極的なサポートにより医師不足を補っておられました。

今回実習させていただいて特に印象に残ったのは、医療従事者のみなさんが、患者さんのことを第一に考えて、それぞれの立場で、積極的に医療に取り組んでいらっしゃる姿勢でした。朝の診察開始時には山田院長と看護師長をはじめ多くのスタッフの方が患者さんに向けて挨拶をし、スタッフがすれ違う際には挨拶を欠かさない、明るく風通しの良い病院でした。私自身も日が経つにつれ自然と自ら挨拶をするようになっていました。外来見学や回診の際には看護師さんがいろいろなことに気を配って医師のサポートをし、患者さんとコミュニケーションをとっておられて、忙しい中でも患者さん一人ひとりが気持ちよく診療を受けられる環境づくりがなされていると感じました。また、退院カンファレンスやNST委員会においては、様々な医療従事者の方が患者さんの病状や今後の方針についてそれぞれの立場で意見を出して、情報を共有されていました。このような円滑な連携により素晴らしいチーム医療が行われているのだと感じました。訪問看護や訪問リハビリテーションを見学させていただいた際も、医療従事者の方が患者さんの状況や家庭の状況を把握してきめ細やかな対応をされていて、患者さんのQOLを高めるためにあらゆる努力をされていると感じました。

最後になりましたがお忙しい中、山田院長をはじめ井原市民病院のスタッフの方々には貴重な時間を割いて多くのことを教えていただき、心より感謝申し上げます。短い期間ではありましたが本当にありがとうございました。



波多野 陽輝 岡山大学医学部医学科2年生



今回2月22日～26日の間、

井原市立井原市民病院にて、実習に参加させていただきました。各科診療をはじめ、コメディカルの方々の仕事、カンファレンスや委員会にも参加させていただき、大変充実した

日程を組んでいただきました。

その他にも先生方との食事や院長先生のお話からも、地域の医療の抱える問題点や、地域医療ならではのやりがい、大切さを伺うことができました。

それらを通して、地域の病院の役割は都会の病院のものとは違い、患者さんを治すことだけでなく、その後もある程度自立した生活をおくれ、患者さんなりの幸せを感じることができるように、限られた期間の中で包括的な医療を施すところにあるのだと分かりました。また、そういった質の高い医療を提供するには圧倒的に人員が足りない現状も踏まえて、医師とコメディカルの人たちが対等な関係で相補的に働いていく必要性も理解しました。井原市民病院ではその目標を実現するために、たくさんのカンファレンスが開かれていました。その中でも退院カンファレンスやNST委員会では医師、看護師をはじめとして、栄養士、薬剤師といった職種の異なる人

たちが一人の患者さんについて、多角的に意見を交わし合う姿が印象的でした。

また、訪問リハビリ、訪問看護にも参加させていただいたのですが、そこでも地域に密着した医療を施す様子を見ることができました。退院して、気軽に先生たちに相談できなくなった患者さんたちの不安を取り除きつつ、楽しそうに会話をして患者さんとの信頼関係を築いていく様子がとても印象に残っています。こういった医療は、もちろん都会でも行われてはいるのですが、やはり地域の方に特徴的で、患者さんに寄り添った医療を提供できるのが地域医療のやりがいの一つなのだと感じました。

今回の実習を踏まえて、自分もどこで働くかは関係なしに、コメディカルの人たちと積極的に意見を交わし、どうすれば患者さんの幸せに繋がるかを常に考え続けることのできる医者になりたいと思いました。

最後になりましたが、実習に協力してくださった先生方、スタッフの皆様に関心から感謝を申し上げます。大変濃度の濃い五日間で、きっと将来の選択の際に参考になることと思います。井原市民病院で感じたことを忘れず、これからも精進していきます。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

まいづる保育園だより

「みんなでお花見」



4月6日、おやつを持って子ども達とお花見に行ってきました。近くの河川敷までお友達や保育者と歌をうたったり、会話をしたりしながら散歩を楽しみ、河川敷の桜が見えると「きれいだねー」「すごーい！」という声が聞こえてきました。園外でおやつを食べることが初めての子がほ

とんどだったので、みんなとても嬉しそうでした。

桜の下で食べるおやつはいつもより美味しかったのではないのでしょうか？

「親子でクッキング」

5月18日の夕方、イベントで親子でホットケーキを作りました。「せーの。」と言いながらお父さんやお母さんと一緒に生地をひっくり返したり、焼き上がるまでの間、「まだかなー？」などと親子で会話をしたりしながら焼き上がりを楽しみにしているようでした。焼き上がったホットケーキに生クリームやフルーツをトッピングし、美味しそうなホットケーキが出来上がりました。イベント後には、「おいしかった。また作ろうね。」と言ってもらえ、楽しいイベントとなりました。



健康教室のご案内

開催日：毎月第3水曜日 時間：11時30分～12時 場所：玄関ロビー

今年度のテーマ：『人生は腸で決まる!? プロが伝授する腸内フローラ改善法』



開催日	担当
9月21日	看護師
10月19日	薬剤師
11月16日	リハビリ職員

○事前申し込みの必要はありません。
どなたでも参加いただけます。



糖尿病教室のご案内

◆開催日：第1水曜日 11時30分～ ◆場 所：玄関ロビー



開催日	内 容	担 当
8月3日	秋に気をつけたい食事	管理栄養士
9月7日	糖尿病ってどんな病気?	看護師
10月5日	隠れ糖尿病の検査	臨床検査技師
11月2日	どうして起こる? 合併症	看護師



問合せ・食事申込：井原市民病院 内科外来 62-1133 (代)

○糖尿病昼食(400円) 希望の方は2日前までにお申し込みください。
※食事が不要の方は事前申し込みは必要ありません。

職員・嘱託・臨時職員の募集(随時募集)

[常勤職員]

看護師 平成29年3月看護師免許取得見込み者 …… 5名
看護師免許を有する者 …… 5名

[嘱託職員]

看護師 看護師免許を有する者 …… 若干名
看護補助者 …… 若干名
言語聴覚士 言語聴覚士免許を有する者
(育休期間中にかかる代替職員) …… 1名

[臨時職員]

調理員、調理補助者 …… 若干名



随時、応募の受付を行っています。
詳しくは下記までお問い合わせください。
問い合わせ：事務部庶務課
TEL(0866)62-1133(代)

ボランティア活動 「ひまわり」花壇整備



6月3日(金)、井原市民病院ボランティア「ひまわり」の会員の皆さんにより、恒例となりました正面玄関花壇にマリーゴールドを植えていただきました。秋から春はパンジーを、そして夏から秋はマリーゴールドで彩り、来院者の目を楽しませてくれています。



当院では、車椅子の介助や受付での案内、療養環境の整備などしていただけるボランティアの方を募集しておりますので、病院でのボランティアに興味のある方はお気軽にご相談ください。

【事務部庶務課 TEL(0866)62-1133】

予告

第6回 井原市民病院健康まつり 平成28年11月20日(日)10時～14時 (雨天決行)
(会場)井原市民病院 今年も色々なイベントを計画しております。